

# 平成28年(2016年) 4月の結果 (二人以上の世帯)

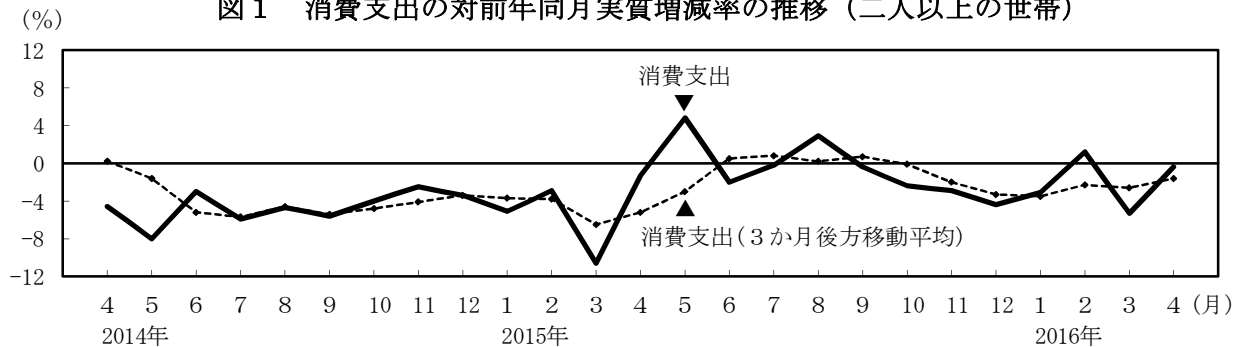
## 消費支出

・消費支出は、	1世帯当たり 298,520 円	
前年同月比	実質 0.4%の減少	名目 0.7%の減少
前月比(季節調整値)	実質 0.2%の増加	
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 257,302 円	
前年同月比	実質 0.4%の増加	名目 0.1%の増加
前月比(季節調整値)	実質 2.9%の増加	

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

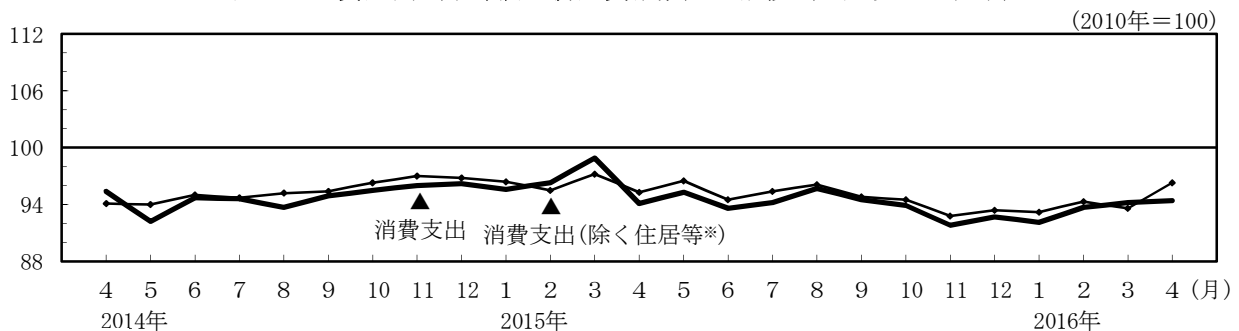


	2015年												2016年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	-1.3	4.8	-2.0	-0.2	2.9	-0.4	-2.4	-2.9	-4.4	-3.1	1.2	-5.3	-0.4			
消費支出(除く住居等)	1.4	3.7	-1.4	1.1	1.9	-0.9	-2.4	-2.9	-4.3	-2.8	1.9	-4.3	0.4			
(参考) 3か月後方移動平均																
消費支出	-5.2	-3.0	0.5	0.8	0.2	0.7	-0.1	-2.0	-3.3	-3.5	-2.3	-2.6	-1.6			
消費支出(除く住居等)	-4.1	-2.0	1.3	1.1	0.5	0.7	-0.5	-2.1	-3.3	-3.4	-2.0	-1.9	-0.8			

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2015年												2016年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	94.1	95.3	93.6	94.2	95.7	94.5	93.9	91.8	92.7	92.1	93.7	94.2	94.4			
対前月変化率(%)	-4.9	1.3	-1.8	0.6	1.6	-1.3	-0.6	-2.2	1.0	-0.6	1.7	0.5	0.2			
消費支出(除く住居等)	95.3	96.5	94.5	95.4	96.1	94.8	94.5	92.8	93.4	93.2	94.3	93.6	96.3			
対前月変化率(%)	-2.0	1.3	-2.1	1.0	0.7	-1.4	-0.3	-1.8	0.6	-0.2	1.2	-0.7	2.9			

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

## 2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年4月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	298,520	-0.7	-0.4	-		2か月連続の実質減少
食 料	70,848	2.9	1.6	0.36	<増 加> 調理食品, 外食など	2か月ぶりの実質増加
住 居	14,346	-11.1	-11.5	-0.62	<減 少> 設備修繕・維持など	2か月ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	23,321	-10.9	-2.0	-0.18	<減 少> ガス代, 上下水道料など	7か月連続の実質減少
家具・家事用品	8,496	-5.6	-5.7	-0.17	<減 少> 家庭用耐久財, 家事雑貨など	3か月連続の実質減少
被 服 及 び 履 物	11,452	-8.3	-10.4	-0.43	<減 少> 洋服, 被服関連サービスなど	9か月連続の実質減少
保 健 医 療	12,759	2.9	2.3	0.10	<増 加> 保健医療用品・器具, 医薬品	5か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	41,172	-5.8	-3.4	-0.49	<減 少> 自動車等関係費, 通信など	2か月連続の実質減少
教 育	24,716	24.1	22.4	1.49	<増 加> 授業料等, 補習教育など	3か月連続の実質増加
教 養 娛 楽	29,034	1.5	-0.6	-0.05	<減 少> 教養娯楽用耐久財, 書籍・他の印刷物など	2か月連続の実質減少
その他の消費支出	62,377	-1.3	(-1.0)	(-0.21)	<減 少> 諸雑費, 交際費など	11か月連続の実質減少
消 費 支 出 ( 除 く 住 居 等 )	257,302	0.1	0.4	-		2か月ぶりの実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

#### 品 目

#### < 減少項目 >

#### 実質寄与度

設備修繕・維持	[-0.38]	.....	外壁・塀等工事費, 火災・地震保険料
自動車等関係費	[-0.32]	.....	自動車購入, 自動車整備費
諸雑費	[-0.31]	.....	婚礼関係費, 葬儀関係費
交際費	[-0.25]	.....	贈与金, 住宅関係負担費
洋服	[-0.21]	.....	背広服, 子供服

#### < 増加項目 >

授業料等	[1.27]	.....	私立大学, 専修学校
補習教育	[0.20]	.....	中学校補習教育, 高校補習教育・予備校
教養娯楽サービス	[0.14]	.....	外国バック旅行費, ゴルフプレー料金
調理食品	[0.13]	.....	弁当, すし(弁当)
外食	[0.13]	.....	焼肉, すし(外食)

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

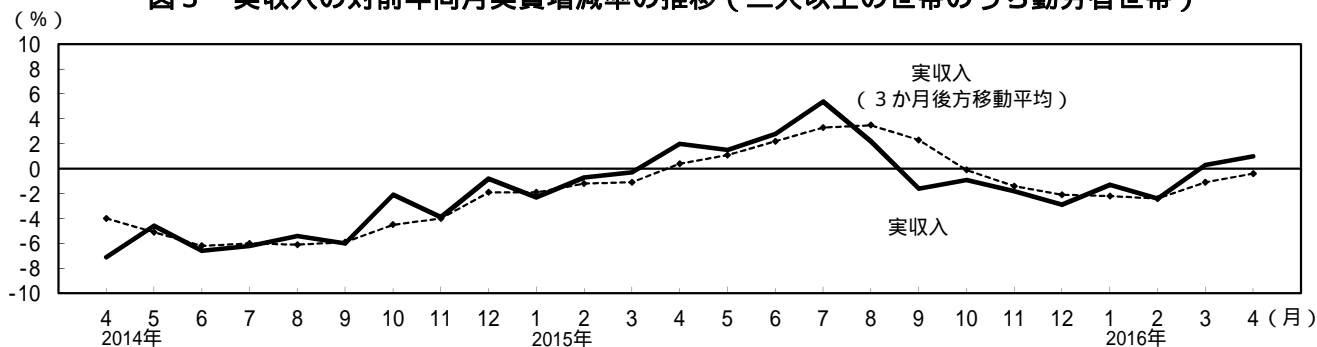
## 実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 480,098 円  
 前年同月比 実質 1.0%の増加 名目 0.7%の増加

### 3 勤労者世帯の収支

#### (1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2015年										2016年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月
実 収 入	2.0	1.5	2.8	5.4	2.2	-1.6	-0.9	-1.8	-2.9		-1.3	-2.4	0.3	1.0
(参考) 3か月 後方移動平均	2.4	2.5	2.8	3.8	3.9	2.6	0.2	-1.1	-1.8		-2.0	-2.2	-1.0	-0.4
実 質	0.4	1.1	2.2	3.3	3.5	2.3	-0.1	-1.4	-2.1		-2.2	-2.4	-1.1	-0.4

#### (2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2016年4月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	480,098	0.7	1.0	-	2か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	365,341	3.0	3.3	2.44	9か月ぶりの実質増加
定 期 収 入	354,262	1.9	2.2	1.58	9か月ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	57,776	1.7	2.0	0.24	4か月連続の実質増加
他の世帯員収入	8,690	2.0	2.3	0.04	10か月ぶりの実質増加
非 消 費 支 出	91,963	-0.2	-	-	2か月連続の減少
可 処 分 所 得	388,135	0.9	1.2	-	2か月連続の実質増加
消 費 支 出	338,001	1.1	1.4	-	2か月ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	(前年同月) (ポイント差)				季節調整値でみると74.2%で、前月に比べ2.7ポイントの上昇となった。
	87.1	86.9	0.2		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。